

part of your life

part of your life

君の人生の一部になりたい。

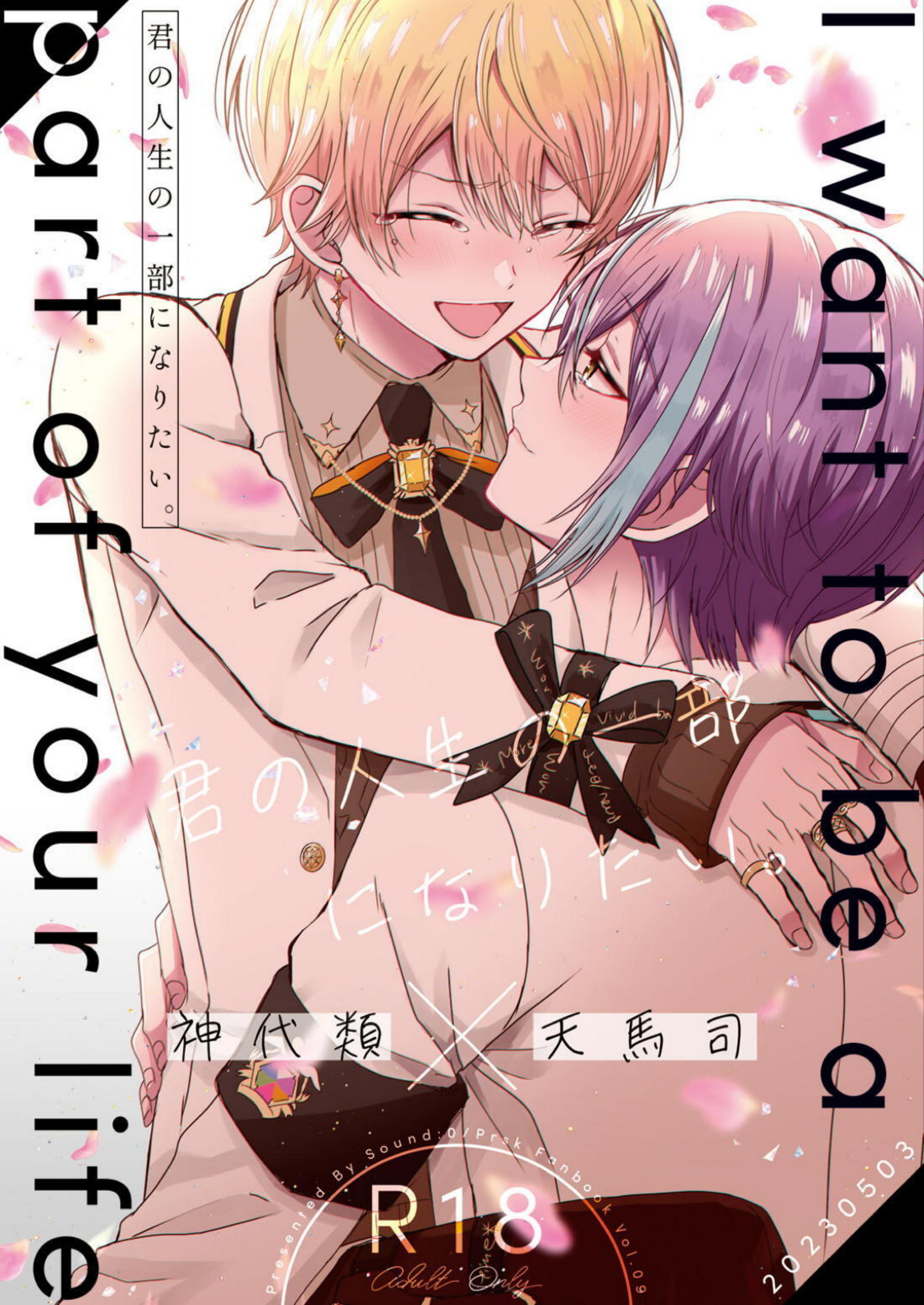
君の人生になりたい

神代類

天馬司

Presented By Sound:0/Prsk Fanbook Vol.06
R18
Adult Only

20230503





始まりは
突然だった。



高校3年生1月.....

ねえ
司くん



高校卒業したら僕と
一緒に住まないかい？





え……？

もちろん君には咲希くんがいるから無理には言わないよ

それよりも

なぜそんなこと急に言い出したんだ類



もう君の存在は

僕の人生の一部になっっているんだ

……高校卒業したらこうやって司くんと毎日会えないだろうか？

ショーの練習では会うけど毎日ではないし……

それなのに
離れるなんて
出来ないよ

だから

僕は君の人生の
一部になりたいんだ

君の人生の一部になりたい。

神代類 × 天馬司

なにそれ

プロポーズ
みたいじゃん…

ぬう……っ

やはり
そうだろうか…

そうですね

類は無意識かも
しれないけど

司に対しての
表情とか
声の感じとか

わたしを含め
司以外の人たちは
向けられるものとは
明らかに違うよ





そんなこんなで類との共同生活を始めてしまった。





最近
は類

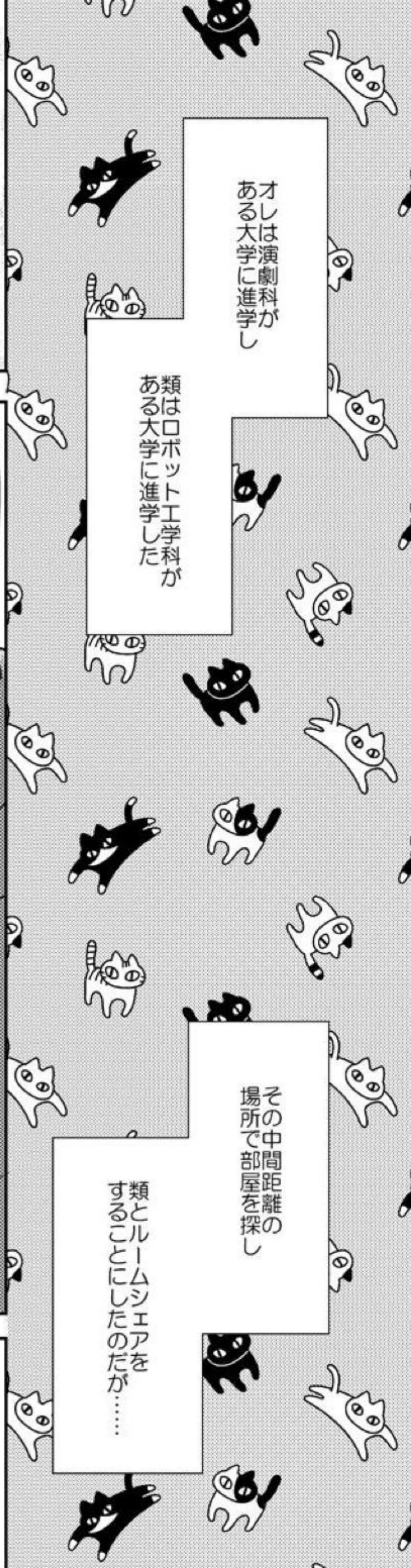
すずる

僕は4限までだから
もう少し早く
帰ってくるよ



だからお風呂洗って
司くんが帰ってすぐに
お風呂に入れるよう
待っておくね

あからさまに
オレに触れるように
なってきた



オレは演劇科が
ある大学に進学し

類はロボット工学科が
ある大学に進学した

その中間距離の
場所で部屋を探し

類とルームシェアを
することにしたのだが……



……

わかったぞ
感謝するぞ
類!

それでは
行ってくる!

類にあんな表情で
頼み事をされたら
断れないのはそうだが

ただ純粹に

いつも演出家として
役者のオシを
支え続けている類が

いつも友として
一緒にいてくれる類が

ひとりの人間として
オシを求めてくれたことが

どうしようもなく
嬉しかったんだ

ガ
タ
ン

は
く
ん

ゴ
ト
ン

は
く
ん

類が触れてきた頬が
ずっとなあんなに熱いんだが...

胸のそばに
収まらないんだが...



司くん

今度のショーの
演出案を考えたんだけど
見てくれるかい？



でかしたぞ
類！

なでなで

これで演出と
機材作りも
進めてくれ！！



もちろんだ！
どれどれ！



ふむ……

これなら
あの空飛ぶ表現も
うまく表現できそうだな



……類

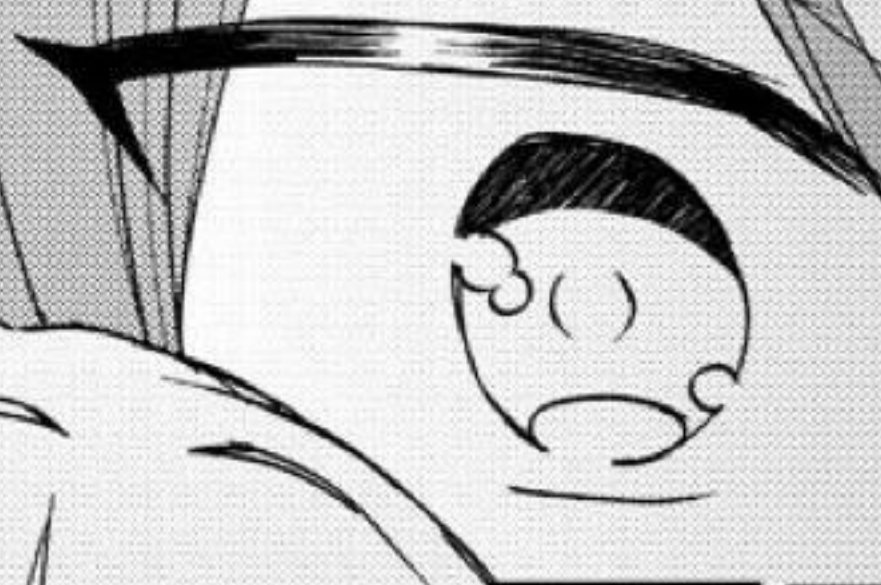
嬉しそうだな



じゃあ1週間くらいで
作ってみるね

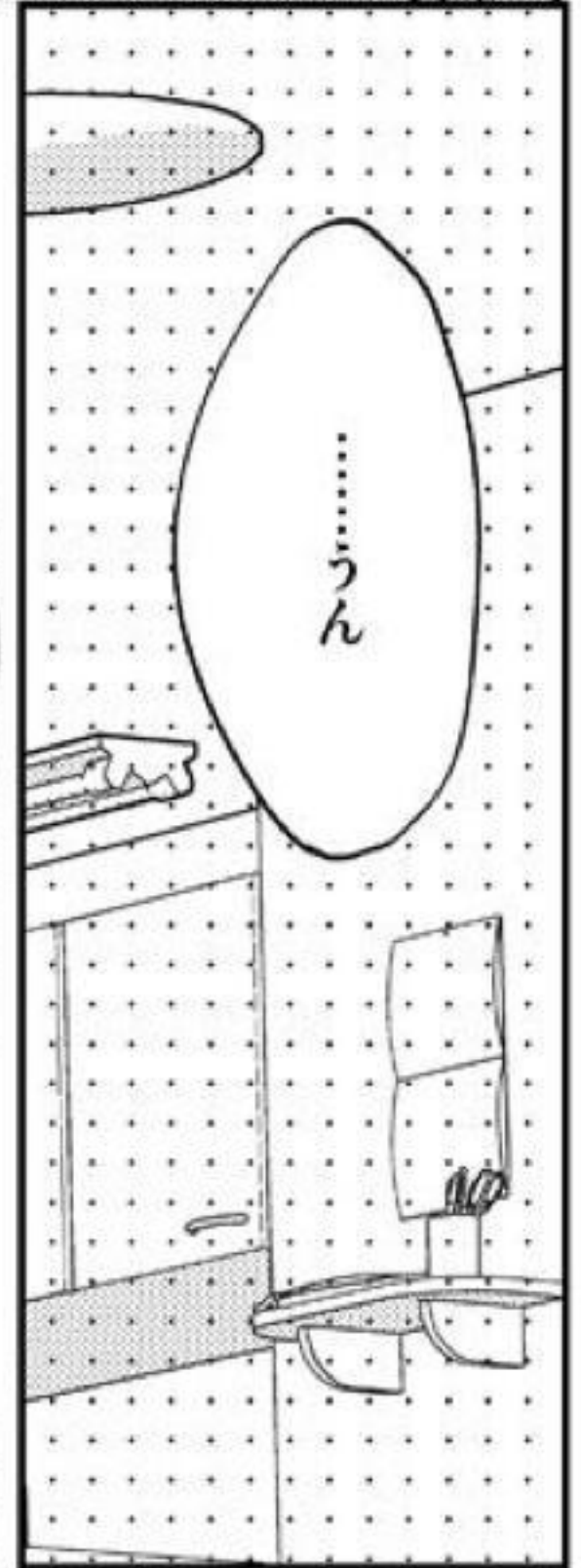
ああ
頼む！

……



……すごく
幸せだよ

高校時代から



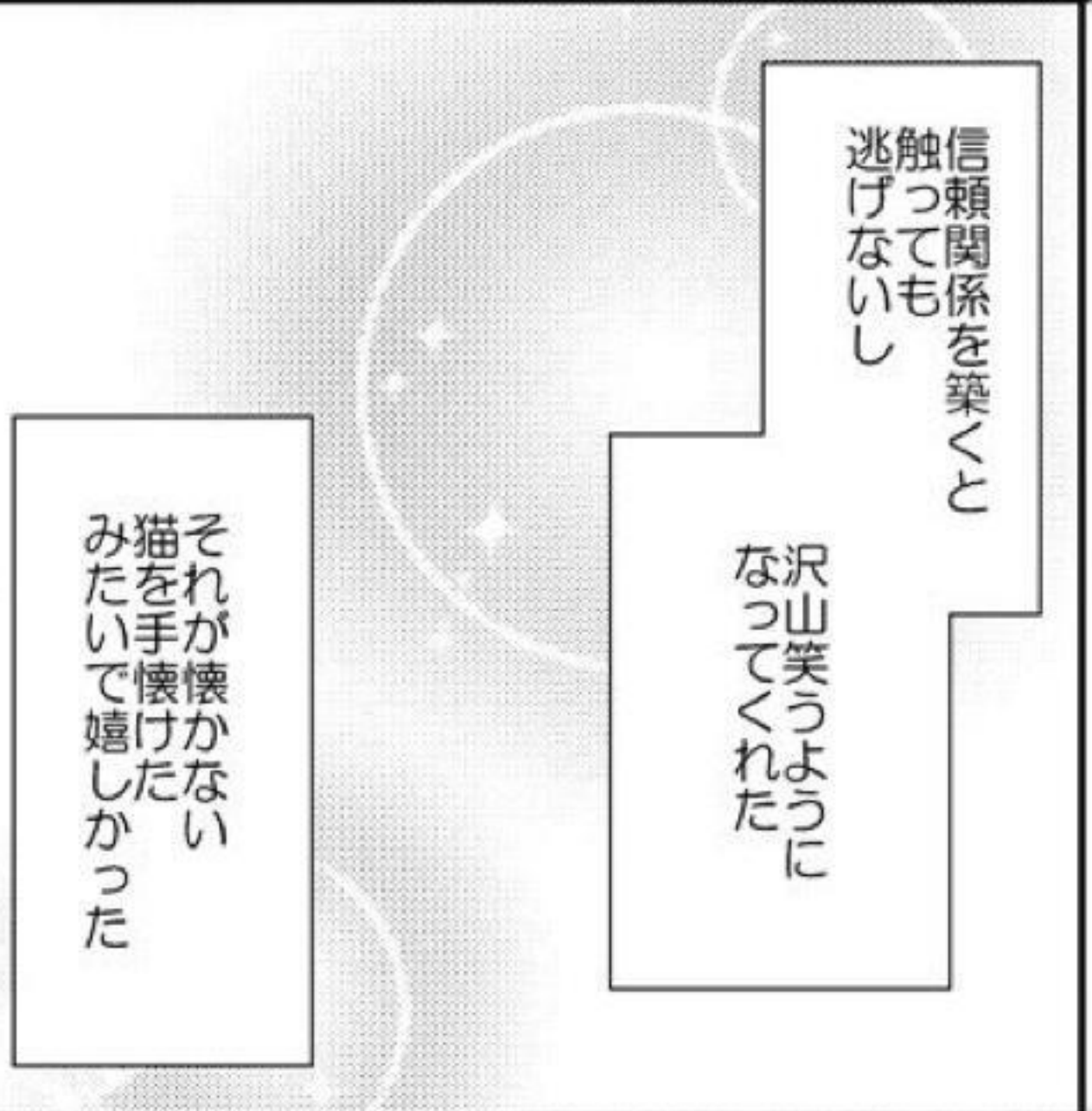
……うん



オレが褒めると
嬉しそうな
表情をする類が
可愛くて仕方なかった



最初はあんまり
他人に線ひいて
近づけさせても
いなくて
なかつたのに



信頼関係を築くと
触っても
逃げないし

沢山笑うように
なってくれた

それが懐かない
猫みたいで嬉しかった



次第にオレが類のことを
もっと幸せにしてやらなければ、
と思うようになった



一緒に
暮らしている
中でも

何度も嬉しそうに
微笑む類を見て

…フフ

司くんと一緒に住みたいって

あの時勇氣出して本当によかった

いつからか

類は更に柔らかく笑うようになった


どこから出してきたんだ

サッ


こうして考えた演出案もすぐに直接伝えられるし

こうやって一緒におやつも食べられるしね





こんなに
柔らかく笑う奴
だったか？



1週間に一度実家に帰る日

るいさんとの
生活はどう？

ねえ
お兄ちゃんっ



あいつ 家のこと
いろいろとやって
くれるんだよな...

野菜は
相変わらず
食わんが

あはは!



むっ
楽しいぞ!



でも



.....
ふふ

アタシもちろん
毎日お兄ちゃん
会えなくなつたのは
寂しいよ!

でもね



やはり
咲希に毎日
会えないのは
寂しい

アタシは
それよりも

お兄ちゃんが
やりたいことを
思いつきり
やってほしいの！

アタシが
たつくさんお兄ちゃんに
幸せにして
もらったみたい

アタシも
お兄ちゃんには
たつくさん幸せに
なってもらいたいんだ！

咲希……！

ふる
ふる



.....



む？
そうか？



司くん

今日なんだか
疲れてる？



近頃ショーの
練習で忙しかったし
司くんは大学の課題も
忙しそうだったしね

今日は
早く寝た方が
いいね

.....

こういうことが
以前にもあったがな



こっんっ

.....少し
熱っぽいね



たまたに見せてくれる
類の優しさ

まるで壊れ物に
触れるかのように
大切に扱った

まだ慣れていない
あのときの戸惑った



冷たくて
気持ちいいな...



ほや...

類の手

ごめんね.....

すり〜

しゅんぽん



類 どうした?



...いや

何もないよ
氷枕も必要かな



よく眠っているね

.....フフ



.....



.....僕

すずる
o o o o o o o

このまま
我慢できるのかな

ワンダータイムズx
シヨウタイムでした！

ありがとうございました！

ワ

ー
…

類！
今日のシヨウ
大成功だったな！



ワンダーステージ裏

うん

そうだね

今回は特に
演出に一番注目される
内容だったからな!

最後のほうきで
飛ぶ演出は
特に盛り上がった!

観客の皆さんが
笑顔になっ
ていたな!!

嬉しいなあ

フフ

皆最高の
笑顔だったよね




勿論
えむと寧々もだが

ああ



類

お前が
いてくれて
本当によかった



やはり
類の演出が
オレの中で最高だ

世界一だ！



僕の中でも

.....!

司くんは
世界一のスターだ



司くん

大好きだよ

ジュッ

ジュッ



.....僕も



なご

なご

お前が
そのようなことを
言ってくれるだなんてな!



!?

珍しいな



オレも
大好きだぞ!



…うん
司くん

本当に
大好きだよ…

キラキラ
oooooooo



…違う
意味だろうか

む?
何か言ったか?



類？
どうした……

ちゅっ

こっぴどんっ

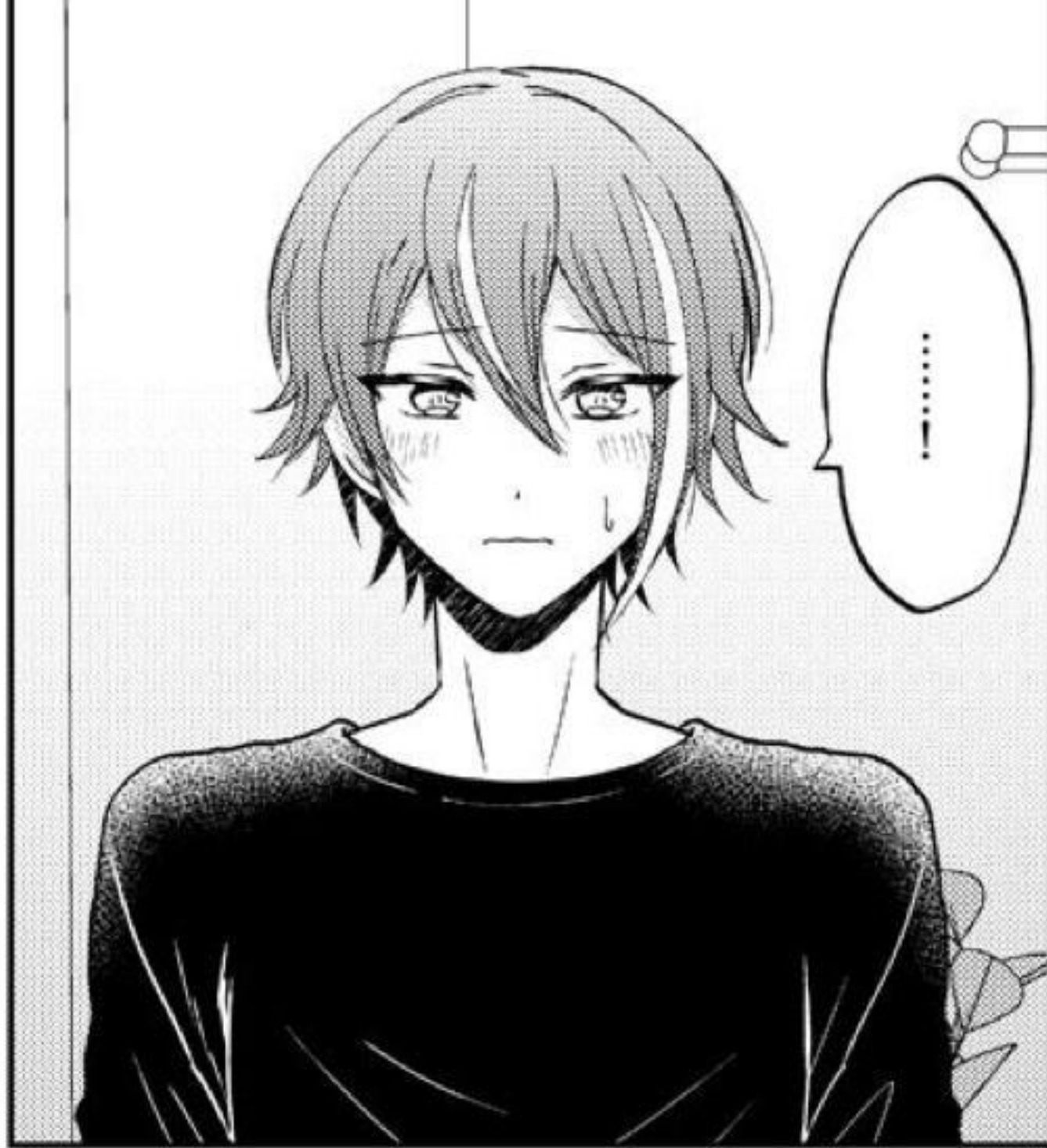




勝手に
キスしておいて……

ごめんとは
一体どうい
つもりなん
だう……!?

それから。



タタ飯を作るときや
 楽飯の時もあんなに
 それが会話していたのに
 がなくなり

あんなに夕飯のあとに
 盛り上がるっていたの
 リンクでシヨ一の
 打ち合わせするときも
 きちなくなってしまう





んん

一緒にシヨアの
動画や映画を見て

夜が明けそうに
なるまで感想を
言いかうことも
なくなってしまうた

同じ劇団の
仲間としては
今まで通りだ

でもそれ以外の
時間や家の中では
どさんどん類と
話さなくなってしまうた

このままでは
埒が明かん…

それならいっそのこと。



この前のことは
怒ってないから
逃げないでくれ



類
話がある

ギンヤッ





なぬだ!?
何故だ!?

こんな
もう同居をしても
意味がない状態が続くのは
お前だって気まずいだろう?

それに

嫌だよ……



もうお前が

オレと話すのが
嫌になったのなら――



嫌じゃないよ



すまないね
司くん

ずっと君に謝る
言葉を探していて
迷ってしまった
いたんだ



司くん
ごめん

僕に最低なこと
ばかりしてしまってるよね

君を絶対に
傷つけたくなんて
なかったのに

ずっと大切に
したかったのに……!



……司くんは
いつもキラキラ
輝いていて



絶対に手に入らない
存在だと思っていたんだ

そんな君が
僕には眩しくて

でも



君を欲しいと
思うのを
どうしても
止められなくて……



だから最初は
君の特別を

ひとつだけでも
思ったんだ
欲しいと



それで
君の人生の
一部になりたいって
伝えた





僕 本当は

君の1番に
なりたいんだ



でもね



司くんと一緒に暮らして
いくたびに

やっぱり欲が
抑えられなくなってきて
あんなことを...





オレには
確かに大切な人が
沢山いるぞ

咲希は勿論

父母、えむ、寧々、冬弥、
他にも大切な人が沢山いる

でも
こんなふうに

グッ

イッ

ちゅっ



オレが
思触のたいは

類にだけ
だからな!

類



これでは
駄目か…？

今

お前のおかげで
ようやく気付けたんだ

自分の気持ちに



司くんと共に
ショーをしないかと
誘われたことも

僕のどんな演出にも
応えてくれることも

初めて演出案を
君に見せたら
君が笑顔になって
喜んでほめてくれたことも

僕の考えた演出が
成功して君が笑顔に
なってくれたことも……

全部本当に
嬉しくて

全部一生の
宝物になった

あのね
僕は

僕の手で
君を世界一の
スターにしたい

僕の手で

君を世界一
幸せにしたいんだ

する……

類では

一緒にオレと

オレだって
類と同じくらいに

類をオレの手で
幸せにして
やりたいからな！

世界一幸せに
なろうではないか



だから
オレも

お前の人生の
一部にしてくれないか？

司くん……！！



オレだって
類と同じくらいに

類をオレの手で
幸せにして
やりたいからな！

だから
オレも

お前の人生の
一部にしてくれないか？

司くん……！



では
一緒にオレと

世界一幸せに
なろうではないか

一部じゃ
ないよもう

僕の中では……

君は僕の人生
そのものだ

……

フイツ

……大げさな
やつだな

フフ

ねえ
司くん

!?

君には沢山
甘えて
きてほしいな

急に
どうした!?

君が甘えられる
相手が僕だけだ
って
実感したんだ

現に
そうだろうか?



それと

君の特別を
ひとつでも
沢山僕のものにしたくて……

……!



急に自信家になっ
たな!?!
調子に乗りおってまったく……

……まあ

その通りだが……

○○○○○

ギン

ヤ



チヤッ



……フフ



司くん
かわいい

んっ

チヤッ





ニギハヤヒ...

ニギハヤヒ...



ハッ...

ニギハヤヒ...

ニギハヤヒ...



は...
...ねえ
司くん

ハッ...

は...



よかつた

お前はオレを
なんだと
思っている!?



し



知っているに
決まっているだらう...!?



セックスって
知ってるかい...?

なぬ!?!?!?

それでね
僕

このまま
司くんと
セックスしたいんだ

えっ

抱きたくて

ねえ
駄目かな？

すっ...

ずっと
君に触れたくて
仕方なかった

もう司くんにも
もっと触れたくて

我慢
できないんだ



う……

わかった……





いいよ
僕はもっと君に
甘えてきて
ほしいんだ

ねえ

触ってほしくないって
言ってくれないかい？



う……っ

類かわいいな……

ハ？！

も……っ……っ

ハ……っ

……っ
類……っ

オレに
さわってくれ……！！



...フフ



ゴクゴク!!

...!!



お安だいよ
御用だよ



ギョーッ

ギョーッ



ビクビク!!

...!!

...



...



あ……っ

や……

じ
ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

ハ
ミ

ミ
ロ
ノ

ん
……

なんだ……っ



尻も
あつい……っ

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

ハ
マ
マ

類の舌の
ザラザラで……っ

胸がじわじわ
ぞくぞくする……っ

乳首なんて……っ

さわったって
意味なくないか……!?

なぜ……!

ぞくぞくぞくぞく
ぞくぞくぞくぞく

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ



司くんこんなに
気持ちよさそう
なの!??

ちゅっ

ひゃあ……!?



お姉さん……!!

ひゅるるっ

ビクビク!!



おや？

今
イツてしまったの
かな？

……うー？……うー？

……っ
わからんっ

こんなの
はじめてだから……！



それに……っ

あゝ……

はあ……

類に触れられた場所が
全部気持ちいいからで
あって……！！

はあ……



……

……っ
嬉しいな

司くんの
はじめて

沢山
貰ってしまった

司くんが
僕の手で

ホロ

気持ちよくなつてくれて
本当に嬉しい

ホロ

類っ!?

何故泣いてるんだ...!?

ベッドの上でだけは
司くんは僕だけのものなんだと
思うと嬉しくて...



このかわい
司くんは僕
知らないん
だか

嬉しいな

う……っ

かわいい
お前……



司くん!
急に
どうしたん
だい!?

ボロ

ボロ

……っ



お前に
つられて
涙が出て
きただけ
大丈夫だ……

……っ

……っ

司くんは
泣き顔も
かわいい
ねえ



キヤッ

司くん
そろそろ

君と繋
がりたい
かな



だから司くんが
僕の手で気持ちいいと
思ってる顔
もっと思わせて

気持ちいい声
もっと思かせて？

ちゅっ

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ん……！

ん……

ちゅっ

ちゅっ

ん……

はあ……

なんで……っ

あ……

ズッ
ズッ

おまえは……っ

カクカク

そんなに
余裕があるんだ……！



…余裕なんて

あるような顔に見えるのかい？

ぐくぐ

ハッ…

ハッ…



最初から余裕なんて全くないよ……っ

ズグググッ

今も司くんのこと大好きすぎて……っ

少しでも君のことを自分のものにしたくて必死だ……!!

ふふふ……!!

ググググッ!!

ハッ…

僕の一番は
司くんだけだなあ……


僕が沢山の
司くんのことを
知って

それをも欲しいって
—一つでも欲しいって
思ってたみたい

司くんにも
僕のことを沢山
知ってもらって


司くんにも
同じように
思ってもらいたいから

……やっぱり




僕
張るね
頑

自分の生涯を
かけて



……お前が
生涯を
かけなくたって



オレはずっと
お前のそばに
いるつもりだぞ

End.